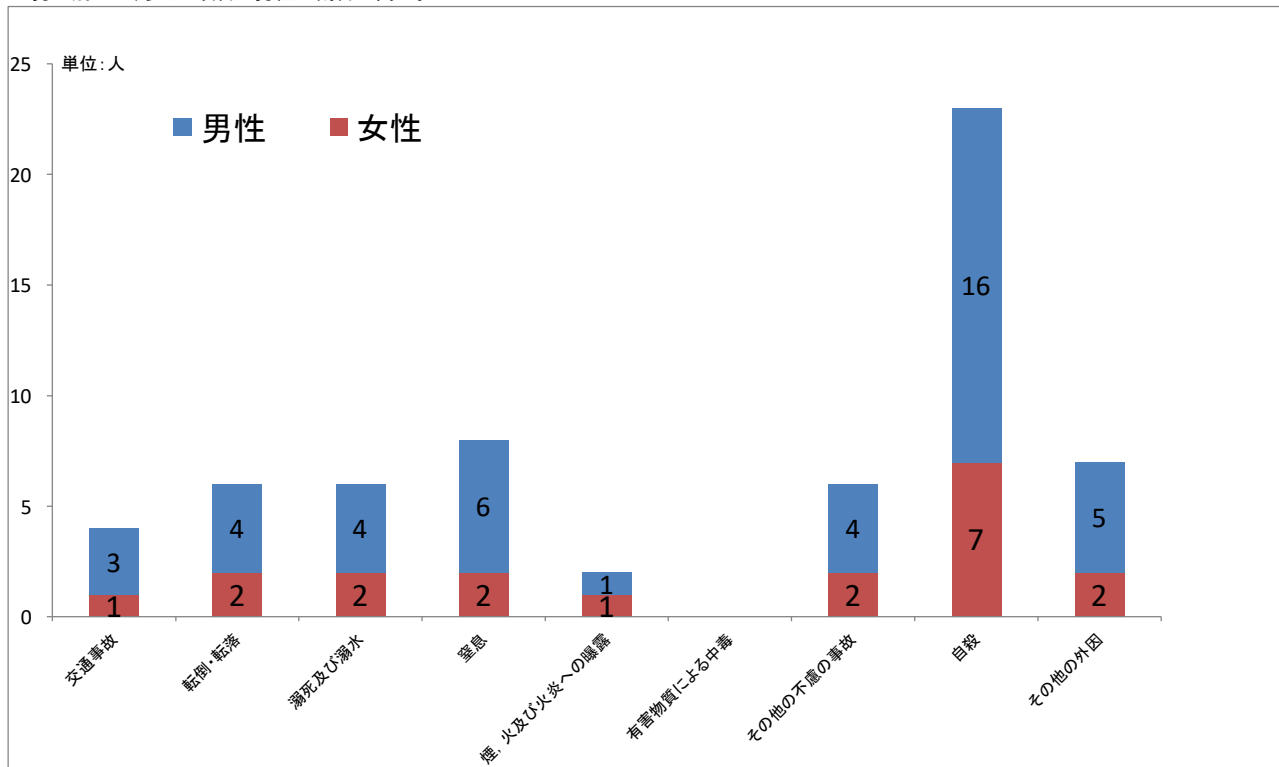


## 令和2年（2020年） 十和田市における外因死亡について

表1 原因別、男女別

外因死の原因については、昨年同様、自殺が1番多く、全体の約37%を占め、次いで窒息が多い。  
男女別では、多くの項目で男性の割合が高い。



(厚生労働省 人口動態調査より)

表2 年代別

年代別に見ると、65歳以上の高齢者が多く死亡しており、全体の約77%を占めている。

表1の原因別で多数を占めた自殺は、20代から80代まで幅広く広がっている。窒息は70代以降で発生している。

(単位:人)

年代	交通事故	転落・転倒	溺死及び溺水	窒息	煙及び火災への曝露	有害物質による中毒	その他の不慮の事故	自殺	その他の外因	合計
0歳～4歳										0
5歳～9歳										0
10歳～14歳										0
15歳～19歳										0
20歳～24歳								1		1
25歳～29歳								4		4
30歳～34歳			1							1
35歳～39歳								1		1
40歳～44歳										0
45歳～49歳								1	1	2
50歳～54歳								1		1
55歳～59歳										0
60歳～64歳								4		4
65歳～69歳	1	1	1					2		5
70歳～74歳		1	2	1				5	1	10
75歳～79歳		1	1	2				2		6
80歳～84歳	1	2			2		1			6
85歳～89歳	2	1		1			4	2	2	12
90歳～94歳			1	3			1		2	7
95歳～99歳									1	1
100歳以上				1						1
合計	4	6	6	8	2	0	6	23	7	62

(厚生労働省 人口動態調査より)

※数値については、厚生労働省の人口動態調査の調査票情報を利用、独自集計しているため、公表数値とは一致しない場合があります。